

現状及び課題

■渋滞の要因

- 現交通量に対する道路の容量不足、信号待ちによる先詰まり、沿道店舗への出入り等による影響
- 現交通量のうち約40%が通過交通

■渋滞の対策

- 通過交通を転換させるため、迂回看板の設置や渋滞緩和に寄与すると想定される交差点等の整備
- 走行性向上のため、区画線の改良（中央ゼブラゾーンの設置、右折レーンの拡大）
- 上記の短期対策のほか、中長期対策として渋滞対策に資する事業中路線の整備

これまでの取組

■中央ゼブラゾーンの設置【短期対策】

- 走行性向上のため、中央ゼブラゾーンの設置及び右折レーンを延長

■TDM(迂回を促す動画等の周知)【短期対策】

- 国等が、県道山口防府線から国道262号への経路変更による効果をPRするチラシや動画を作成したため、県市でこれを広く利用者に周知

※TDM（交通需要マネジメント）

<交通量の割合>

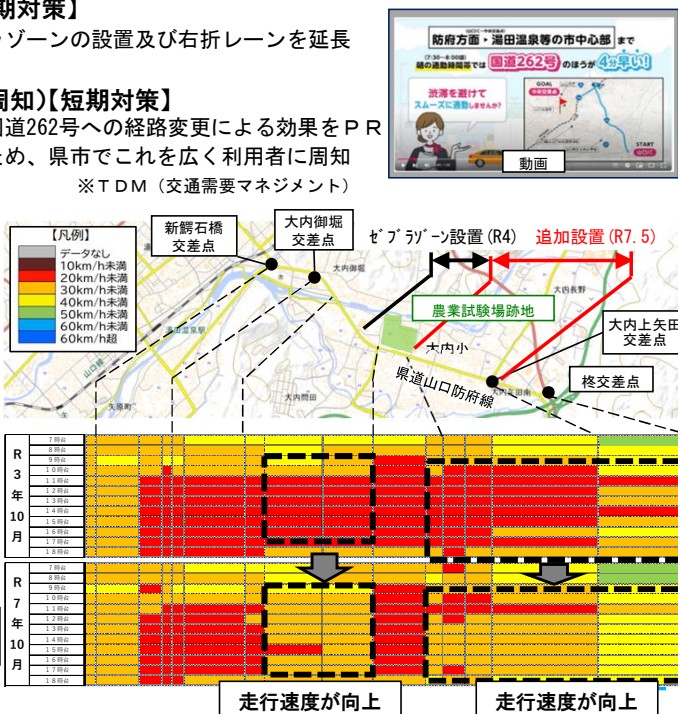
- SNSに動画投稿後、国道262号を経由して山口市中心部に向かう車両の割合が増加（投稿前 44.5%→後 49.2%）

<走行速度等>

- 柵交差点から大内小学校付近までの区間において、走行速度が向上
(例：20km/h未満→30km/h未満)
- 右折レーンを整備した大内上矢田交差点において、渋滞が改善(渋滞長R3:400m→R7:0m)

県道山口防府線の走行速度
防府→山口方面 休日 7:00~19:00

出典：ETC2.0プローブデータ



■交差点改良等【短期対策】

- 渋滞緩和に寄与すると想定される4つの交差点のうち、以下の交差点について対策を実施
- ① (仮) 山口中央高校交差点では、市道部に左折矢印信号を設置 → 左折待ちによる渋滞が改善
- ② (仮) 中村橋交差点では、信号の青時間の配分を調整 → 交通の円滑化に寄与



- ① (仮) 山口中央高校交差点、② (仮) 中村橋交差点
- ③ 柵交差点、④ (仮) 市道12区管内1号交差点

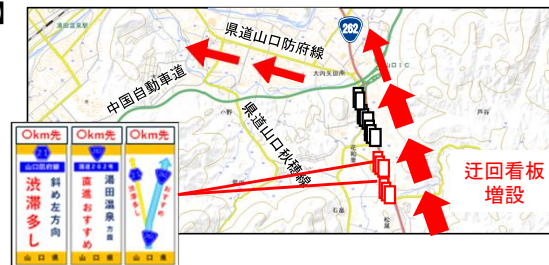


- ① (仮) 山口中央高校交差点

今年度の取組

■TDM(迂回看板の増設等)【短期対策】

- 現在の迂回看板に加え、より事前に利用者に周知できるよう、防府側に迂回看板を増設
- 動画がより多くの利用者に視聴されるよう、各媒体等により広報活動を拡大



■交差点改良等【短期対策】

- ② (仮) 中村橋交差点では、引き続き、具体的な対策内容を検討
- ③ 柵交差点では、設計に着手し、対策内容を検討



<現状>

山口大学方面から防府方面、防府方面から山口大学方面において、朝夕ピーク時を中心に渋滞が発生



<現状>

山口方面から防府方面において、朝夕ピーク時を中心に渋滞が発生

■事業中路線の整備・その他路線の整備に向けた検討【中長期対策】

- 県道山口防府線の渋滞対策に資する事業中路線の整備を実施
(都) 泉町平川線において、湯田跨線橋側道橋の上部工事に着手予定



(都) 泉町平川線 (湯田跨線橋付近)



湯田跨線橋側道橋の下部工工事

今後の取組

○引き続き、県市等で連携し、ソフト対策や交差点改良等の短期対策、事業中路線の整備等の中長期対策について、実現性や整備効果を考慮しながら、個々の対応を組み合わせ、最適な渋滞対策となるよう検討していく